

424 愛知共同行動 通信

新型コロナ「第6波」に備えた体制強化を！

9月15日現在の「感染患者の療養状況、病床数等調査」結果の公表（厚生労働省 HP より）により、全国の『現感染者数』は9/1の**20万7,672人**をマックスに、全国集計は下降し始めています。

☆「第5波」の感染拡大マックス状況は、

- ・「現感染者数」—20万7,672人（9/1）
- ・「入院」—2万4,488人（9/1—確保病床の使用率62%）
- ・「重症」—3,034人（9/1—重症確保病床の使用率53%）
- ・「宿泊療養」—1万9,937人（9/1—全体の10%、確保室数の使用率45%）
- ・「**自宅療養**」—**13万5,859人（9/1—全体の65%）**
- ・「確認中」—3万2,162人（8/25）

●「第5波」で最大の問題となった、『自宅療養者』の急増に対し、「確保病床」や「宿泊療養室数」を増加させ、必ず来る「第6波」に対する対策強化を早急に実行する必要があります。さすがに、「第5波」の想定外の感染者拡大で、大半の都道府県で「確保病床」も「宿泊療養室数」も増加させる対応措置を講じて来ました。しかし、その対応状況は、都道府県ごとにバラバラな対応状況となっています。9/15時点で確保されている「**入院病床**」+「**宿泊療養室数**」を「第5波」の「現感染者数」最大値に占める割合で比較すると、**全国平均値では、43%の確保状況**です。つまり、「第5波」相当の感染者拡大が「第6波」で起きても、過半数を超える57%は「自宅療養」せざるを得ない状況です。そんな中、**岐阜県は、79%を確保**し、従来から原則として来た「自宅療養者ゼロ」に向けて、さらに確保数の増加をめざしています。一方、**愛知県は15%の確保**にすぎず、全国平均を大きく下回り、**東京—24%、大阪—39%にも達していません！**相変わらず、今後も「自宅療養」を原則としていくのでしょうか!?

	7月末時点の確保状況		9月15日現在の確保病床・宿泊療養室数													
	確保病床	宿泊療養室数	「第5波」の最大値				確保病床数				宿泊療養室数				「確保病床」+「宿泊療養」	
			現感染者数	入院	宿泊療養者数	自宅療養者数	確保病床	最大値の割合	増加数	増加率	宿泊療養室数	最大値の割合	増加数	増加率	合計数	現感染者数の最大値に占める割合
全国	36,590	39,832	207,672	24,488	19,937	135,859	40,236	61%	3,646	110%	49,376	40%	9,544	124%	89,612	43%
愛知	1,515	1,300	22,083	1,048	737	19,178	1,722	61%	207	114%	1,577	47%	277	121%	3,299	15%
東京	6,406	2,940	41,368	4,218	2,180	25,139	6,583	64%	177	103%	3,310	66%	370	113%	9,893	24%
大阪	3,097	3,986	26,753	2,303	3,462	17,723	3,335	69%	238	108%	7,091	49%	3,105	178%	10,426	39%
岐阜	783	1,097	2,783	509	975	914	817	62%	34	104%	1,377	71%	280	126%	2,194	79%
三重	436	240	4,282	302	109	3,906	521	58%	85	119%	259	42%	19	108%	780	18%
静岡	606	735	5,151	441	372	4,155	755	58%	149	125%	735	51%	0	100%	1,490	29%